働らく母親の社会資源
…… 東部保育所完成 ……

特選の東部保育所が完工して、十一月一日から開所しました。入所員二一〇名の児童福祉法による常設保育所でありまして、木造平屋建一四ヵ所の低所得世帯については無料で入所させる外、一般の保育料も安くするために、市税の課税状況により決定されます。）

保育所としては、県内でも最も保育という折紙つきのもので、特に子どもの安全保育をなすうえの保健衛生施設、防火設備、二段がまえの非常口、安全便所、浴室、玄関（よろこんで給食をたべる子どもたち）

（東部保育所の全景）

前の手洗設備などに細心な配慮がなされている点は模範とされています。

そのうえ位置が環境的に恵まれ、屋外遊び場は川合神社前の敷地で夏以来工事を進めていたものです。

五〇坪の遊戯室のほか、保育室四乳児室、給食室、事務室、御面室、所長室、その他ならなっており、いままでの季節保育所とことなり、冬でも休まずに保育をつづけます。

保母も六人有資格者（うち三人は保育専門学校出身）を採用して子どもの教育や保育に万全を期し、給食も行ないますので給食婦や給食設備も完備しております。

一ヶ月の保育費は三才以上児で四、二〇〇円であります。

がこの保育費の納入に困難な低所得世帯については国や県が補助金をだしてこの保育料を安くすることとなっています。したがって最底は九〇〇円から最高二、四七〇円（三才未満四、二三〇円）となっています（この基準は町税や所得税の課税状況により決定されます。）

保育所、幼稚園に就園させるために、それぞれ年度別整備計画をたてて乗り出しはじめました。新潟県の施設の状態は全国平均よりずっと遅れていますので二年ほど前から年に百ヶ所の児童福祉施設を整備しようと力を入れていることはご承知のとおりであります。

このようなときに、わが川口町にも立派な保育所ができましたことは、まことによろこばしいことであります。

保育所は幼稚園のように、子どもの教育のみを目的とするものでなく、仕らく母親にかわって保育しながら教育する場所でありましてわが国の経済情勢、産業構造の中にあって大きな役割を果す大切な社会福祉施設であります。

どうぞこのよい施設を積いっぱい利用して下さい。

（住民課）

多彩な 文化祭行事

十一月三日を中心とする文化祭行事が盛大にくりひろげられたが、その模様をふりかえってみよう。

1. 衛頭展覧会

町内の各学校より出品された作品二〇〇点あまりを衛頭に展示した。その中には明るく正しい選挙ポスターの入選も展示されて通ゆく人の足をとめた。

2. 町民芸能まつり

三十数種目という町はじめて以来の種目数、三時間五十分というこれまた長い時間だった。

民踊研究会のきれいな手さばき、各地区婦人会の踊りをこらした舞技や、商工会青年部のステージいっぱいの演芸が場内をわかせ、織成後間もなくとはいえ、青協のエレキバンド、ブルーリバーの演奏は場内の大観衆を興奮させた。一方藤間流藤川会の可愛い舞踊も花を添えてくれた。

町の出演者も日頃のノドを披露され、楽しい秋の夜のひとときを過した。

青年協議会が素晴しいステージの飾りつけをしてくれたこの頃をかりて感謝の言葉を送りたい。

3. 町民卓球大会

青年協議会主管で盛大だった。久しくこのような機会が途絶えていただけに出場者はもちろん応援の人たちもしんけんだった。成績次のとおり。

○団体戦

一位　木沢チーム
二位　東川ロチーム
三位　田東山チーム
四位　西川ロチーム

○個人戦（男子）

一位
二位
三位

○個人戦（女子）

一位　桜井玲子（田東山）
二位　関　ナミ（西川口）

4. 囲碁大会

クラブ主催は役場会場にして名人争戦が展開された。

成績次のとおり。

一位　鈴木　融　東部
二位　中林真三
三位　平沢基雄
四位　岡村重慶

5. 将棋大会

十八名の腕に自信のある面々、A級、B級にわかれ熱戦をくりひろげ、成績は次のとおり。

A級
一位　星野富吉
二位　山田徳吉
三位　堀沢哲男

B級
一位　中川　実
二位　安達三郎
三位　渡辺孝夫

6. 小平谷、川口駅伝大会

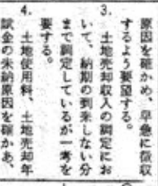
中学校の部で川口中A・チームが勝った。伝統ある川口中学校はついに五連勝の偉業をなしとげた。

一般もスポーツクラブが出場、堂々七位を占め、山田義雄選手は唯一人区間賞を獲得した。高校の部では強豪にまじって善戦五位に入賞し気を吐いた。

明るく正しい 選挙 ポスター入選者発表

川口町選挙管理委員会は、明るく正しい選挙を推進するため、町内の中学生を対象にポスターの募集を行ないましたところ、多数の応募をいただきありがとうございました。

応募総数五九点のうち第一次審査に合格したもの、七九点について第二次審査を行い次のとおり入選者を決定しました。なお審査員は川口小学校長衛藤幸作氏にお願いしました。


選挙

一等　田東山中三　桜井玲子
二等　田東山中三　佐藤正明
二等　川口中三　広井小百合
三等　川口中三　岡村富士江
三等　木沢中一　星野　剛
三等　田東山中三　森山ふみ子

入選
木沢中三　小林　孝
川口中三　星名美幸子
田東山中三　森山江子

委員長に 小宮山賢吉氏 教育委員の異動

十月三十一日任期満了になり退任された関戸吉氏の後任として、星野芳吉氏（木沢）が選任された。

関さんは昭和三十一年に教育委員に選任され二ヶ年をおふたたび委員に選ばれ、教育行政の任にあたってこられた。商工会長、総代のおじとに加え、地区館長も兼ねられ、その活躍ぶりは定評があった。

星野芳吉さんは昭和三十三年に教育委員に選任され、四年間の経験があり、またこのたび選ばれたものである。

したがって町教育委員会は去る五日会議を開き、委員長、副委員長を次のとおり決定した。

委員長　小宮山賢吉
副委員長　鈴木　六郎

役場職員人事異動

十一月十日付をもって次のとおり異動が発令された。

産業課長　山田栄作（住民課）
住民課　　渡辺政男（税務課）

泉水小学校 給食室完成

泉水小学校に給食室が完成、配膳は十米八十人であったが、十一米をかるく越える実力をもっている。

がんばった!! 片桐先生 国体で入賞

十月二十三日から六分間営業上観技場において開催された第二十一回国民体育大会に片桐紀子先生（田東山中）が砲丸投に出場、みごとに第六位に入賞された。

先生は国体初出場であるが今までも各種の大会に上位入賞をとげている。このたびの三六、三六平方米で新築、二学期から実施している。十月二十九日に試食会が行なわれた。

子供達は献立表を見ながら楽しみにして待っている。体位、体力の向上に今後の期待がよせられている。

大潤・金子両氏 新潟県社会福祉大会 において受賞

新潟県社会福祉大会が去る十一月十六日新潟市公会堂において開催された。

この席上、田東山の大潟多氏が十八年間に亘り、民生委員として、また、社会福祉にたづさわり、地域の社会福祉の向上に今後の期待がよせられている。

岩本厳氏に表彰状

PTA県大会開催さる

共同募金運動二十周年記念新潟県社会福祉大会が去る十一月十六日新潟市公会堂において開催された。

この席上、田東山の大潟多氏が十八年間に亘り、民生委員として、また、社会福祉にたづさわり、地域の社会福祉の向上に今後の期待がよせられている。

金子農協長は過般共同募金運動に尽されその成績が優良であって他の模範であるとして、それぞれ表彰を受けた。

岩本厳氏に表彰状

PTA県大会開催さる

去る二十九、三十の両日にわたって村上市において開催された県PTA研究大会において、PTA活動に積極的に協力したということで岩本厳氏に表彰状がおくられた。

岩本さんは、川口小学校PTAの役員として活躍され現在は川口中学校PTAの役員として常に率先してその運営に協力されている。

選挙人名簿の 制度がかわりました

従来、選挙人名簿は基本選挙人名簿と補充選挙人名簿の二た通りとされており、基本選挙人名簿については、毎年九月十五日現在をもって、一方衆院選挙時登録権制主義がとられ、補充選挙人名簿については中止出て選挙の都度調製されておりましたが、最近の急激な人口の移動と社会生活の複雑化により、住所のはあく等、戦調査が困難になってきたことと又あわせて毎年調査をくりかえすことにも問題があり、一方補充選挙人名簿は、選挙の最に支障のない限り、閲覧や謄本の交付等が完全に出来ることから、調査が完全に出来得ない欠かんも見受けられるのであります。このため選挙人名簿を永久選挙人名簿として合理化し、いわば選挙人の戸籍として確定させ、その上で有権者の移動を的確に整理するため、本年六月に公職選挙法の一部が改正されました。

改正の概要は次のとおりであります。

一、選挙人名簿はカード式とし、選挙人名簿は永久名簿となり、その効果は従来と異なり永久に据えおかれることになりました。

二、当初の選挙人名簿は本年六月二十日現在により、調製し、九月三十日に確定しました。

◎本年だけの特例措置として、前記の名簿に脱ろうしていた者や、十月十日現在において選挙権を有することとなった者について十一月一日に追加登録を行いました。（確定登録者の総数は別表のとおり）

三、その後の選挙人名簿の登録は原則として、申告登録主義になりました。

新たに住所を有することとなった者や今が二十才に達している者、結婚、印章を持参の上選挙管理委員会に登録の申し出を行って下さい。

選挙管理委員会は、登録の申し出を基準として、資格を調査し毎年三月と九月に定時登録を行ないます。

但し九月に限り衆議登録を併用いたします。

二、選挙人名簿は選挙の管理執行事務以外は名簿の調製事務に支障のない限り、閲覧や謄本の交付等が出来ます。

四、選挙人名簿は選挙の管理執行事務以外は名簿の調製事務に支障のない限り、閲覧や謄本の交付等が出来ます。

五、住所移転者が選挙人名簿への登録の申し出をするには、前定登録市町村の選挙管理委員会の発行する登録証明書、又は未登録証明書を申し出書に添附しなければなりませんから、住所を移転する者は必ず選挙管理委員会に申し出て下さい。

（選管）

投票区別選挙人名簿確定登録者数
（41.11.1現在）

投票区	区域	男	女	計
1	中山田北	496	575	1071
2	野口和北	224	269	493
3	南小倉	389	451	840
4	鳥ケ	51	59	110
5	道谷	108	130	226
6	高ノ	221	246	467
7	沢田牛	50	51	101
8	相武谷	88	95	183
9	荒田小	51	50	101
10	宮山木	165	171	336
11	竹	52	52	104
12	計	2145	2418	4563

川口町公民館報
公民館報
第81号
発行人　古田島　正
編集人　金子　真
印刷所　山科堂印刷所

昭和40年度 一般会計 特別会計 決算 投資的経費（一般会計）の割合が 全国水準に達する

昭和四十一年川口町議会の十月定例会に、昭和40年度一般会計及び特別会計の決算、監査委員の意見が付されて提出され、十月十一日の本会議においていずれも承認された。

決算内容を一般会計についてふれてみると、

昭和40年度における一般会計の才入才出決算規模は、才入一億三千五四一二千円、才出一億三千二五二四千円で差引二八八千円の剰余金を生じているが、前年度繰越金二五八六千円を差引くと、単年度の実質収支は三〇二千円の黒字となった。

才入決算は、執行率は九九九%であり、前年度に対し、一五九二万円の収入増であり、調定額に対する収入割合は九八、三%である。

町税については、収入額で二、〇六四千円の増であり、これに税制の改正による減税措置償六七〇万円を加えると、実質的には八、七六四千円の増となっている。町税の内訳をみると、一番大きな構成比を占めているのは固定資産税で四九、七八%、民税（使用料、財産収入等）三〇%、依存財源（交付税、国県補助金等）が七〇%で、前年度より依存財源が四%も増している。しかし経済状勢並びに町の発展的段階においては、依存財源によることもやむを得ないものと考えられる。

才出決算は、九七、八%で集積は効率性を考慮しながら、満度に近く実施されていることは特筆されることである。

このほかの点については、監査委員の意見及び別に掲げた表により決算内容のお知らせにかえさせていただきます。

監査委員の意見

1. 才入の執行率が一〇〇%を割ったことは、才入の原則からして注意を要する。

2. ブルドーザーの貸付料が百万円以上未納がある。

3. 予算執行を性質別に見ると、類似団体の全国平均と殆んど同じ構成比を示しているが、特殊財源に恵まれない町としては、投資的経費が全国水準に達していることは、積極的に事業を推進したものと考えられる。

4. 財政力指数は二、六%で、平均より低いから今後の財政運営は、経済の発展に応じて事業の優先度を充分考慮して、重点的に執行すべきである。（各節）

1. 才入の執行率は一〇〇%を割ったことは、才入の原則からして注意を要する。

2. ブルドーザーの貸付料が百万円以上未納がある。

3. 予算執行を性質別に見ると、類似団体の全国平均と殆んど同じ構成比を示しているが、特殊財源に恵まれない町としては、投資的経費が全国水準に達していることは、積極的に事業を推進したものと考えられる。

4. 財政力指数は二、六%で、平均より低いから今後の財政運営は、経済の発展に応じて事業の優先度を充分考慮して、重点的に執行すべきである。（各節）

議会だより

10月 定例会

昭和四十一年川口町議会の十月定例会は、十月二十七日招集され、会期二日間を残して、十月三十一日閉会された。この定例会に付議された事件は、昭和四十年度決算及び条例制定等の十七件であった。

昭和41年度補正予算原案通り可決

十月定例会に提案された一般会計補正予算（五回、六回）は原案通り可決された。

これで一般会計の総額は一億四千五七八万円となった。

この補正予算の内容は、東部保育所関係の予算であって、建設費の一部変正と、十一月一日から開所するための保母千円計上されている。保母の給料や通園費が、一八四五千円計上されている。保母の給料や通園費が、一八四五千円計上されている。保母の給料や通園費が、一八四五